

平成 26 年 5 月 2 日
国立情報学研究所

電子図書館事業の今後について（趣旨説明）

本研究所は、我が国の学協会の発行する学術雑誌等の電子化及び公開により、学術情報流通に貢献することを目的として、平成 9 年(1997 年)から電子図書館事業(ELS)を開始しました。当時は電子化の黎明期であったため、本事業にご賛同いただいた学協会から紙の雑誌の提供を受け、それを本研究所においてスキャンして画像ファイルを作り、同時に検索のためのメタデータや書誌データを付与して公開するという取り組みを開始しました。その後、現在に至るまで 18 年間にわたって本事業を継続し、428 の学会の 1,400 種類の雑誌、合わせて 362 万論文の電子化を行ってきました。また、電子化した論文は全て、本研究所が提供する学術コンテンツサービスである CiNii を通じて広く利用されています。

こうした取り組みを通じて、本研究所は、日本の学術雑誌の電子化を支える基盤的な役割を果たしてきたと考えております。また、ELS によって生み出された電子コンテンツが、大学を中心に国内外で広く活用されているのは、ひとえに学協会の皆様からのご支持とご協力の賜であります。

しかし一方で、海外では紙からの電子化の時代は早々に終わりを告げ、ポーンデジタルの電子ジャーナル出版が主流となっています。わが国でも、平成 11 年(1999 年)に科学技術振興機構(JST)が J-STAGE の運用を開始し、日本の学術雑誌の電子ジャーナル出版プラットフォームとしての役割を担うこととなりました。

この度、学協会誌の電子化に対する国の支援は J-STAGE に一本化するという国の方針が示され、また、JST が J-STAGE Lite (仮称) という、ELS 参加学協会誌の登録が可能なプラットフォームの開発に着手することが明らかにされたため、国の指導を受けて活動している本研究所は、その方針に従い、ELS を終了するという決断を下すに至りました。

今回の事業終了に伴い、引き続き学術雑誌の電子公開を予定している学協会様におかれましては、ELS に代わる新しい形での電子化と公開についてご検討いただくこととなります。本研究所といたしましては、各学協会様や JST などの移行先サービスと協力しつつ、可能な限り混乱のない形で ELS 事業を終了できるように最大限の努力を払いたいと考えております。なにとぞご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

ご質問やご意見は以下のサイトからお寄せください。

http://www.nii.ac.jp/nels_soc/

今後の終了に向けての活動の詳細については、参加学協会様からのご意見を踏まえ、7 月末を目途にご案内させていただく予定です。